

# アニマルケア概論

## (授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、トレーナー、動物看護師、ショップ、動物保護等）に就くために知っておくべき知識として、ホリスティックアニマルケア、ペットアロマセラピー（講義）、ホリスティックマッサージ（実習）を中心に学び習得する

か 科	生命科学科	きょういん 教員	荻野
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年次	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	72

## 目標

### 1 学期

ホリスティックアニマルケア アロマセラピーを通じて、ペットの生活の質の向上を図るためにアロマの基礎知識を習得し、日本アロマ環境協会 アロマセラピー検定1級合格を合格できるようになる。

### 2 学期

スキンマッサージを習得し、動物にリラックスと癒しを提供できるようになる。

全期を通して、人と動物の関係、そして動物とのより豊かな暮らしを考え、行動できる。

## 授業計画

### 1 学期

1回 1 動物を飼う 「環境編」 1 動物を飼う 「予防編」

2回 1 動物を飼う 「愛情・絆編」 まとめ

3回 2 ペットとストレス 3・4 ストレスの原因

4回 5 アロマセラピー 6 精油とは

5回 7・8 精油の希釈濃度 植物が芳香物質を含有するようになった理由

6回 9・10 精油の抽出方法 11・12 においと嗅覚

7回 13・14・15 嗅覚の伝達メカニズム アロマのメカニズム

8回 16 アロマセラピーと基材

9回 17・18 アロマセラピーの取り入れ方

10回 30 種類の精油について

11回 アロマ検定1級模擬テスト

12回 テスト

13回 テスト解答

14回 前期締め授業

## 2学期

15回 ホリスティックマッサージとは

16回 ①なでる 手法実技

17回 ②たたく 手法実技

18回 ③引っ張る 手法実技

19回 ④揺らす 手法実技

20回 ⑤もむ 手法実技

21回 ⑥押しまわす 手法実技

22回 ⑦手を当てる 手法実技

23回 応用編

24回 応用編

25回 技術確認

26回 実技テスト

27回 実技テスト

28回 実技テスト

29回 実技テスト

30回 食事栄養管理について①

31回 食事栄養管理 実習

32回 食事栄養管理について②

33回 テスト（筆記）

34回 テスト（解答）

35回 肉球クリーム作り

36回 アロマふわふわボディクリーム作り

## 授業の方法

講義、演習、グループワーク

## 教材

ノートプリント 1～22 マッサージ関連プリント 10枚 精油一覧表

## 評価の方法

期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

動物にかかるストレスを意識し、常にストレスがかからないように行動する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

株式会社 IK 工業ペット事業部 D-HAB 経営

# グルーミング概論・実習Ⅱ

## (授業概要)

犬のグルーミング技術を身に付ける

グルーミングだけでなく部分カット（お尻カット・下回りカット）の技術も習得

周りに気を配りながら行動できる人材の育成

科	生命科学科	教員	神坂 美紀
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36×6時間

## 目標

### 1学期

犬に負担がかからないようにグルーミングが出来るスキルを習得

中型犬・大型犬・動き回る犬の保定が出来るようになる

1人で1頭仕上げることが出来るようになる

### 2学期

グルーミングだけではなく簡単な部分カット（お尻カット・下回りカット・目元カット）が出来るようになる

チワワ・ダックスフンドを100分以内に仕上げることが出来るようになる

## 授業計画

### 1学期

- 1回 グルーミング実習（2人で1頭）
- 2回 モデルグルーミング（下回りカット）
- 3回 グルーミング実習（2人で1頭）・下回りカット開始
- 4回 グルーミング実習（1～2人で1頭）
- 5回 グルーミング実習（1～2人で1頭）
- 6回 グルーミング実習（1人で1頭）
- 7回 グルーミング実習（1人で1頭）
- 8回 グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
- 9回 グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
- 10回 グルーミング実習・ライセンス試験（2週に分けて実施）
- 11回 グルーミング実習・ライセンス試験（2週に分けて実施）
- 12回 前期試験期間 グルーミング実習（1～2人で1頭）
- 13回 前期試験期間 グルーミング実習（1～2人で1頭）
- 14回 グルーミング実習（1～2人で1頭）

### 2学期

- 15回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 16回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 17回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 18回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 19回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 20回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 21回 グルーミング実習 (1~2人で1頭)
- 22回 モデルグルーミング (お尻カット・目元カット)
- 23回 グルーミング実習・部分カット開始
- 24回 グルーミング実習 (部分カット)
- 25回 グルーミング実習 (部分カット)
- 26回 グルーミング実習 (部分カット)
- 27回 グルーミング実習 (部分カット) ライセンス方式で行い時間を意識
- 28回 グルーミング実習 (部分カット) ライセンス方式で行い時間を意識
- 29回 グルーミング実習 (部分カット) ライセンス方式で行い時間を意識
- 30回 グルーミング実習・ライセンス試験 (2週に分けて実施)
- 31回 グルーミング実習・ライセンス試験 (2週に分けて実施)
- 32回 グルーミング実習
- 34回 グルーミング実習
- 35回 グルーミング実習
- 36回 グルーミング実習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

ブリーダー犬・一般犬を用いての実技実習

きょうざい  
教材

グルーミング用品

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

ペットショップのトリマーとして勤務

# コンパニオンキャットII

## (授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、ペットショップ、動物保護、動物看護）を目指すうえでしておくべき猫の基礎知識について、ブリーディング、老猫のケア、猫のシャンプー、カラー遺伝を中心に全般的な知識を習得する

科	生命科学科	教員	上田
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

## 目標

### 1 学期

来客されるお客様がブリードされる時細かく、お客様が安心してブリード出来るように、正しく説明できるようになる。

大事な猫ちゃんとの別れを猫にとっても飼い主にとっても後悔の内容にオーナー様に話せるようになる。

### 2 学期

カラーを知ることで、販売する猫のカラーが正しいか又お客様から質問された時、解りやすく説明できるようになる。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 ブリーディング① (正しいブリーディング)
- 2回 ブリーディング② (4つのブリーディング①)
- 3回 ブリーディング③ (4つのブリーディング②)
- 4回 ブリーディング④ (交配に適した条件)
- 5回 ブリーディング⑤ (交配の取決め)
- 6回 ブリーディング⑥ (交配前の雌猫のコンディション)
- 7回 ブリーディング⑦ (法背後の母猫の管理)
- 8回 ブリーディング⑧ (受精・受胎確認)
- 9回 ブリーディング⑩ (出産準備①)
- 10回 ブリーディング⑪ (出産準備②)
- 11回 前期テスト
- 12回 前期テスト答え合わせ&不理解部分の説明
- 13回 ブリーディング⑫ (出産DVD)
- 14回 ブリーディング⑬ (出産前の母猫の変化)

### 2 学期

- 15回 ブリーディング (出産)

- 16回 ブリーディング (出産中のトラブル)
- 17回 ブリーディング (産後のトラブル)
- 18回 ブリーディング (人口哺乳①)
- 19回 ブリーディング (人口哺乳②)
- 20回 ブリーディング (性格の良い猫に育てる)
- 21回 ブリーディング (離乳食)
- 22回 血統書について
- 23回 老猫のケア①
- 24回 老猫のケア②
- 25回 老猫のケア③
- 26回 猫のシャンプー①
- 27回 猫のシャンプー②
- 28回 カラー遺伝①(ソリッド)
- 29回 カラー遺伝②(アグーチ)
- 30回 カラー遺伝③(優性・劣性)
- 31回 カラー遺伝④(ブラック遺伝・オレンジ遺伝)
- 32回 カラー遺伝⑤(半生遺伝)
- 33回 カラー遺伝⑥(両親から受け継ぐ遺伝)
- 34回 後期テスト
- 35回 後期テスト答え合わせ&不理解部分の説明
- 36回 総まとめ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

「猫の教科書」

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

老猫のケアを実践し、成猫までのケア方法との違いに理解を深める

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# トレーニングケアゼミ演習

## (授業概要)

特別講義や業界研究の機会をとおして、自分が目指す職業理解を深める。また、自分を見つめなおすことで自分を客観視することができ、面接等にも役立てるような内容

科	生命科学科	教員	稲岡
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	72時間

## 目標

### 1学期

就職に向けて、専門学校の特徴は何か、授業はなんのためにあるのか、自分はどのような人間か、自分が目指す企業はどんな企業かを調べ、理解し、話せるようになる。

ショップ実習室では、ショップ運営に必要なものとはなにかを理解し、実際に行動する。

### 2学期

動物や自分の研究したことを人に伝えるということを意識して、グループごとに調べて人前で話す。

## 授業計画

### 1学期

- 1回 専門学校の特徴を知ろう/授業を知ろう
- 2回 自分を知ろう
- 3回 自分を知ろう
- 4回 業界を知ろう
- 5回 職業を知ろう
- 6回 企業を知ろう
- 7回 履歴書を作ろう
- 8回 履歴書を作ろう
- 9回 履歴書を作ろう
- 10回 面接練習
- 11回 面接練習
- 12回 面接練習
- 13回 面接練習
- 14回 前期振り返り

### 2学期

- 15回 卒業研究発表に向けて
- 16回 卒業研究発表に向けて



- 17回 卒業研究発表に向けて
- 18回 卒業研究発表に向けて
- 19回 自分が目指す職業について知る
- 20回 自分が目指す職業について知る
- 21回 動物特徴発表準備
- 22回 動物特徴発表準備
- 23回 動物特徴発表準備
- 24回 動物特徴発表準備
- 25回 動物特徴発表準備
- 26回 動物特徴発表
- 27回 動物特徴発表
- 28回 動物特徴発表
- 29回 卒業研究発表に向けて
- 30回 卒業研究発表に向けて
- 31回 卒業研究発表に向けて/後期試験
- 32回 卒業研究発表に向けて/後期試験返却
- 33回 2年間振り返り
- 34回 自分の夢について
- 35回 トレーニングルーム掃除
- 36回 総まとめ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

グループディスカッション・実習

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# ドッグトレーニング概論・実習

(授業概要)

犬学 家庭犬のしつけ

犬との生活に必要なルールやマナーの構築

科	生命科学科	教員	高山美左
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36×6時間

## 目標

### 1学期

人と犬との生活について必要なハウスマナーの構築、教え方を理解する

### 2学期

人と犬との暮らしのQOLを考え、クライアントに提供する知識、技術を得る

## 授業計画

### 1学期

- 1回 実習の諸注意の確認、犬の散歩等の管理と取り扱いの確認、班分け、担当犬決め
- 2回 犬のボディランゲージ、ストレスサイン、カーミングシグナルの確認
- 3回 人と犬との生活について、リードプログラムの確認
- 4回 犬の学習とは/拮抗条件付けとオペラント条件付け1
- 5回 犬の学習とは/拮抗条件付けとオペラント条件付け2
- 6回 行動の強化と消去
- 7回 行動の般化と状況学習
- 8回 正の強化とトレーニングの概念
- 9回 強化の法則と強化スケジュール/強化子とは
- 10回 二次性強化子とは
- 11回 テスト
- 12回 テスト
- 13回 テスト返し、解答
- 14回 前期のまとめ

### 2学期

- 15回 ドッグアクティビティについて

- 16回 ノーズワーク
- 17回 ラリーオビディエンス
- 18回 ドッグスポーツについて
- 19回 アジリティ
- 20回 アジリティ
- 21回 アジリティ・フリースタイル
- 22回 フリースタイル
- 23回 フリースタイル
- 24回 問題行動の予防
- 25回 問題行動の修正について1
- 26回 問題行動の修正について2
- 27回 問題行動の修正について3
- 28回 問題行動の修正についてクラスセッション
- 29回 犬の健康と行動の関係
- 30回 犬のボディコンディショニング
- 31回 犬のシニア期にける行動の変化1
- 32回 犬のシニア期における行動の変化2
- 33回 犬のQRL
- 34回 テスト
- 35回 テスト返し、解答
- 36回 マナーハンドラーテスト

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

座学 実技実習

きょうざい  
教材

テキスト、DVD、犬具、トレーニング用具等

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

実習犬の散歩等を通しての犬の管理や取り扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# ペットフード学

## (授業概要)

ペットに関わるフード用品に関わる仕事（ペットショップ、卸など）を行う上で必要な基礎的な栄養学の知識やBCSの見方、メーカーごとの違い等を身につけ、フードごとの違いや接客ポイントを理解する

科	生命科学科	教員	橋本
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年次	年間単位時間	36時間

## 目標

### 1学期

栄養学をフードの接客やパッケージの見方等で実践的に行うことができるように、五大栄養素やボディコンディションスコアの見方を覚え、説明できるようになる

### 2学期

フードの歴史やメーカーごとのフードの違い、メーカーの特徴を知り、実際にフードの接客ができるようになる。

## 授業計画

### 1学期

- 1回 栄養とは
- 2回 栄養素 タンパク質
- 3回 栄養素 タンパク質
- 4回 栄養素 糖質
- 5回 栄養素 脂質
- 6回 栄養素 脂質
- 7回 栄養素 ビタミン
- 8回 栄養素 ミネラル
- 9回 カロリー計算
- 10回 カロリー計算
- 11回 ボディコンディションスコア
- 12回 前期試験
- 13回 前期試験返却
- 14回 前期復習

### 2学期

- 15回 フードの歴史
- 16回 フードの歴史

- 17回 4D
- 18回 フードの種類
- 19回 ライフステージ
- 20回 ライフステージ
- 21回 アレルギーについて
- 22回 アレルギーについて
- 23回 アレルギー対応フードとは
- 24回 パッケージの見方
- 25回 酸化防止剤と合成添加物について
- 26回 手作り食について
- 27回 フードの分類
- 28回 販売時に覚えること
- 29回 フードのメーカーについて
- 30回 メーカーについて
- 31回 メーカーについて
- 32回 復習
- 33回 後期試験
- 34回 後期試験返却
- 35回 フードの接客実践（グループワーク）
- 36回 課題

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

ショップ実習室にて実際にフードの接客を行う

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物人間関係学

## (授業概要)

動物の保護・管理や愛護・福祉、及び環境衛生や野生動物問題などを主体として人間と動物の関係性について公衆衛生の観点から解説する。前半は動物を巡る社会学とも言える内容について、後半は仕事に直結する衛生学的知識または技術について学習する。

か科	生命科学科	きょういん 教員	橋本
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	36

## 目標

### 1 学期

- ・ HAB(Human Animal Bond)に関する内容が中心となる。AAT,AAA,AAE について正しい知識を会得するとともに、基礎的な内容を実践できるようになる。
- ・ ペット・ロスやアニマル・ウェルフェアも動物を巡る社会問題の説明ができるようになる。

### 2 学期

- ・ 環境衛生系問題や種々の野生動物問題など、広く人間社会と自然環境との摩擦に関して基本的知識を得て説明できるようになる。
- ・ 動物を扱うプロとして、特に知っておかねばならない衛生面の知識や技術を習得し、実践できるようになり、即戦力になる。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 ヒトと動物の絆
- 2回 AAT と AAA
- 3回 アニマル・セラピーの実際
- 4回 高齢者とペット
- 5回 臨床現場における動物の影響 (1) ①
- 6回 臨床現場における動物の影響 (1) ②
- 7回 臨床現場における動物の影響 (2) ①
- 8回 臨床現場における動物の影響 (2) ②
- 9回 動物介在教育 (AAE)
- 10回 ペット・ロス
- 11回 動物園・水族館
- 12回 産業動物愛界の実態とアニマル・ウェルフェア
- 13回 試験
- 14回 試験フィードバック

## 2学期

- 15回 外来種
- 16回 絶滅危惧種とレッド・リスト
- 17回 生物多様性の保存
- 18回 鳥獣被害の現状と対策
- 19回 動物検疫 ①
- 20回 動物検疫 ②
- 21回 洗浄・消毒・滅菌
- 22回 消毒薬（1）①
- 23回 消毒薬（1）②
- 24回 消毒薬（2）①
- 25回 消毒薬（2）②
- 26回 感染予防の基礎知識
- 27回 スタッフと動物の消毒
- 28回 仕事環境の衛生
- 29回 イヌ・ネコの健康管理
- 30回 ペットの外部寄生虫疾患（1）
- 31回 ペットの外部寄生虫疾患（2）
- 32回 注意すべき真菌性疾患
- 33回 予備日
- 34回 試験対策
- 35回 試験
- 36回 試験フィードバック

### 授業の方法

オリジナルのテキストに準じて進めて行く。

### 教材

特になし

### 評価の方法

期末試験80%、出席率 20%

### 授業外での学習方法

関係書籍を読む。

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり



# 動物愛護推進活動

## (授業概要)

動物愛護に関する事柄、ペットとの暮らしと社会貢献及び社会問題の解決（SDGS）を目標に実習・校外実習、セミナー開催などを通じて学ぶ。

チームで目標達成の計画・実行・発表を行い、企業や行政との関係性を深め社会貢献できる人材の育成を行う。

○動物愛護に関する小学校出張授業

○私とペットを守る 災害に備える同行避難について

科	生命科学科	教員	荻野 直美
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36×5時間

## 目標

### 1学期

6月末 小学校へ訪問授業（動物愛護、動物を知る をテーマに45分間のセミナー）

●チームで協力すること、報連相の徹底、人前で話すことに慣れる

### 2学期

10月中 KAP 全学生への訪問授業を行う※要相談 学園祭での活動（私とペットの防災について50分間のセミナー）

11月中 一般の飼い主様向けのセミナーを開催

●動物愛護に関する社会貢献へのアプローチ方法を学ぶ

1月中 卒業研修課題

## 授業計画

### 1学期

1回 自己紹介、年間授業計画の伝達と計画、小学校訪問への計画

2回 小学校訪問授業 チーム分け、リーダー決定（4チーム）タイムラインの作成

3回 授業制作開始①

4回 授業制作開始②

5回 授業制作開始③

6回 授業制作開始④

7回 授業制作開始⑤

8回 全体通し練習開始

9回 全体通し練習開始

10回 本番※予定

11回 テスト期間 小学校訪問の反省、課題提出

12回 夏休み期間の課題とミーティング計画

- 13回 前期の締め授業（成功塾）  
14回 私とペットの防災について講義 わんにゃん防災資格講座 6時間

## 2学期

- 15回 チーム分け、防災について考える タイムラインの作成  
16回 チームごとの役割を決める  
17回 制作①  
18回 制作②  
19回 制作③ 学園祭について  
20回 制作④  
21回 学園祭予行演習  
22回 学園祭反省会 制作  
23回 制作⑤  
24回 制作⑥  
25回 通し練習①  
26回 通し練習②  
27回 本番※予定  
28回 本番※予定  
29回 卒業研究課題 決定  
30回 卒業研究制作①  
31回 卒業研究制作②  
32回 卒業研究制作③  
33回 卒業研究制作④  
34回 卒業研究通し練習  
35回 後期テスト 生活発表及びセミナー課題提出  
36回 後期締め授業 全体ミーティング

## 授業の方法

講義、演習、校外実習、グループワーク、プレゼン、セミナー

## 教材

## 評価の方法

期末試験80%、出席率 20% 前期レポート、後期レポート提出

## 授業外での学習方法

夏季休暇中

班に分かれて、課題をまとめる。ミーティングは zoom を使用

けいけん じゅぎょうか もく かんけい  
経験と授業科目の関係

あり

# 動物行動学

## (授業概要)

動物の診療及び看護に不可欠である動物の行動とコミュニケーションについて学ぶ。また行動を導くための学習理論について理解を深め、近年問題意識が高まっている犬と猫の問題行動について詳しく学び、その予防や初期対応を考える。

か 科	生命科学科	きょういん 教員	中野 あや
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	72

## 目標

### 1 学期

- ・動物行動学の基礎として、維持行動、社会行動などの行動の発現と発達について理解する
- ・犬と猫のコミュニケーション方法とその意味、発達について理解する

### 2 学期

- ・行動を導くための学習理論について理解する
- ・犬と猫の問題行動についての基礎を学び、臨床でよく出会う問題行動について理解を深める

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 動物行動学とは・総論・5つの自由
- 2回 猫のコミュニケーション・猫の行動観察（猫使用）
- 3回 犬のコミュニケーション・犬の行動観察（犬使用）
- 4回 5/12 休講（課題）
- 5回 動物行動学の成り立ち・行動の進化と適応・家畜化
- 6回 維持行動の意味と効果
- 7回 群れの行動・哺乳類の生殖戦略。敵対行動と親和行動
- 8回 行動の発現と制御・行動の周期性
- 9回 行動の発達科学・社会化期
- 10回 行動に影響を与える要因：遺伝と環境
- 11回 前期試験
- 12回 前期試験返却、解答
- 13回 前期まとめ
- 14回 動物関係業種と行動学

## 2 学期

- 15 回 9/1 休講 (課題)
- 16 回 後期の総論：学習理論と行動治療
- 17 回 学習理論①馴化・感作と脱感作・般化
- 18 回 学習理論②条件づけ・消去・行動形成
- 19 回 学習理論③行動形成と正の罰
- 20 回 問題行動とは・問題行動の関連因子
- 21 回 行動診療と治療の流れ
- 22 回 エキスポと動物行動学
- 23 回 学習理論の復習、行動学のビデオ視聴
- 24 回 行動診療の治療①刺激制御、行動修正法
- 25 回 行動診療の治療②その他の療法、行動と薬物
- 26 回 犬と猫の排泄トラブル
- 27 回 犬と猫の常同行動・転位行動
- 28 回 犬と猫の不安障害
- 29 回 犬と猫の攻撃行動
- 30 回 犬と猫のその他の問題行動
- 31 回 問題行動の予防・快適な環境
- 32 回 後期の復習
- 33 回 後期試験
- 34 回 後期試験返却、解答
- 35 回 1年のまとめ
- 36 回 課題

### 授業の方法

講義

### 教材

講義資料、犬猫の動画、生体の観察

### 評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

### 授業外での学習方法

参考図書の紹介、休憩時間の質問対応

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 動物関連法規学 II

## (授業概要)

動物を扱う仕事（トレーナー、動物保護施設など）をする上で必要となる法律に関する知識を身につける。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36

## 目標

### 1 学期

法律上の飼い主の責任などについて理解し、説明できるようになる。

### 2 学期

外来生物法などを理解し説明できるようになる。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 授業概要説明
- 2回 法律上の飼い主責任 (1) 民法第 718 条
- 3回 法律上の飼い主責任 (2) 不法行為について
- 4回 法律上の飼い主責任 (3) 占有者の注意義務
- 5回 法律上の飼い主責任 (4) 過失相殺
- 6回 法律上の飼い主責任 (5) 実例
- 7回 法律上の飼い主責任 (6) 実例
- 8回 法律上の飼い主責任 (7) 実例
- 9回 法律上の飼い主責任 (8) 実例
- 10回 動物の法律上の位置づけ (1) 概要
- 11回 動物の法律上の位置づけ (2) 概要
- 12回 前期試験
- 13回 前期試験返却・解説
- 14回 動物の法律上の位置づけ (3) 動物に財産を遺す場合

### 2 学期

- 15回 動物の法律上の位置づけ (4) 動物に財産を遺す場合
- 16回 動物の法律上の位置づけ (5) 動物を保護した場合に気を付けること
- 17回 動物の法律上の位置づけ (6) 動物を保護した場合に気を付けること
- 18回 動物の法律上の位置づけ (7) 動物を保護した場合に気を付けること

- 19回 マンションにおける動物問題 (1) 管理規約と使用細則
- 20回 マンションにおける動物問題 (2) 専有部分と共有部分
- 21回 マンションにおける動物問題 (3) 動物飼育可のマンション
- 22回 マンションにおける動物問題 (4) 動物飼育不可のマンション
- 23回 マンションにおける動物問題 (5) 動物飼育不可のマンション
- 24回 動物を預かる場合 (1) 寄託契約について
- 25回 動物を預かる場合 (2) 実例
- 26回 動物を預かる場合 (3) 実例
- 27回 後期試験
- 28回 後期試験返却・解説
- 29回 動物を譲り渡す場合 (1) 贈与契約
- 30回 動物を譲り渡す場合 (2) 実例
- 31回 動物を譲り渡す場合 (3) 実例
- 32回 トリマーの法的責任 (1) 請負契約
- 33回 トリマーの法的責任 (2) 実例
- 34回 獣医師法 (1) 獣医師の義務と役割
- 35回 獣医師法 (2) 獣医師の義務と役割
- 36回 2年総復習

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートやプリントに関しポイントをまとめ直し、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり



# 基礎健康管理学Ⅱ

## (授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ。

か 科	生命科学科	きょういん 教員	石原 昌代
コース	トレーニングケアゼミ	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	36時間

## 目標

### 1学期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。

最低限の応急処置、対応ができること、また、起こさない予防策、接し方を習得する。

実際の症例課題を与え、問題点、応急処置、対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

### 2学期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。

動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し、最終形である死、について理解を深める。

## 授業計画

### 前期

- 1回 授業について
- 2回 エマージェンシーとは 状態確認の方法①
- 3回 状態確認の方法②
- 4回 外傷：応急処置①（小さな傷 大きな傷）
- 5回 外傷：応急処置②（出血）
- 6回 外傷：応急処置③（やけど）
- 7回 外傷：応急処置④（骨折）
- 8回 症例レポート
- 9回 前期復習
- 10回 試験範囲の説明（症例レポート提出）
- 11回 前期試験
- 12回 試験解答 説明
- 13回 外傷：応急処置⑤（ショック）
- 14回 その他：応急処置①（熱中症）

後期

- 15回 その他：応急処置②（眼球突出）
- 16回 その他：応急処置③（感電）
- 17回 その他：応急処置④（けいれん 発作）
- 18回 その他：応急処置⑤（溺水）
- 19回 その他：応急処置⑥（窒息）
- 20回 症例レポート
- 21回 中毒①
- 22回 中毒②
- 23回 心肺蘇生
- 24回 繁殖の管理
- 25回 分娩
- 26回 幼齢動物の飼育管理
- 27回 老齢動物の飼育管理
- 28回 安楽死 エンゼルケア グリーフケア
- 29回 安楽死 エンゼルケア グリーフケア
- 30回 前期、後期の総復習
- 31回 前期、後期の総復習
- 32回 試験範囲の説明（症例レポート提出）
- 33回 後期試験
- 34回 試験解答、説明
- 35回 グループワーク（心臓マッサージと人工呼吸）
- 36回 グループワーク

授業の方法

座学、グループワーク

教材

教科書 板書、動物

評価の方法

期末試験80%（症例レポート点含む）、出席率 20%

授業外での学習方法

症例レポート提出

実務経験と授業科目の関係

動物看護師

# 基礎健康管理学Ⅱ

## (授業概要)

犬、猫を中心とした身近な動物のエマージェンシー時の症状、応急処置について学び、対処法、予防策について、一般的にできる最低限の内容を理解する。

動物の一生涯において、ステージごとに関わる内容について学ぶ。

科	生命科学科	教員	石原 昌代
コース	トリミングゼミ トリミングマネジメントゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

## 目標

### 1学期

エマージェンシーとは何かを理解し、症状に早く気づける観察ポイントなどの知識を学ぶ。

最低限の応急処置、対応ができること、また、起こさない予防策、接し方を習得する。

実際の症例課題を与え、問題点、応急処置、対策などを考え、身近に起こりうる事を実感する。

### 2学期

引き続き、エマージェンシー対応の方法を学ぶ。

動物の生涯ステージごとの接し方、注意点などを理解し、最終形である死、について理解を深める。

## 授業計画

### 前期

- 1回 授業について
- 2回 エマージェンシーとは 状態確認の方法①
- 3回 状態確認の方法②
- 4回 外傷：応急処置①（小さな傷 大きな傷）
- 5回 外傷：応急処置②（出血）
- 6回 外傷：応急処置③（やけど）
- 7回 外傷：応急処置④（骨折）
- 8回 症例レポート
- 9回 前期復習
- 10回 試験範囲の説明（症例レポート提出）
- 11回 前期試験
- 12回 試験解答 説明
- 13回 外傷：応急処置⑤（ショック）
- 14回 その他：応急処置①（熱中症）

## 後期

- 15回 その他：応急処置②（眼球突出）
- 16回 その他：応急処置③（感電）
- 17回 その他：応急処置④（けいれん 発作）
- 18回 その他：応急処置⑤（溺水）
- 19回 その他：応急処置⑥（窒息）
- 20回 症例レポート
- 21回 中毒①
- 22回 中毒②
- 23回 心肺蘇生
- 24回 繁殖の管理
- 25回 分娩
- 26回 幼齢動物の飼育管理
- 27回 老齢動物の飼育管理
- 28回 安楽死 エンゼルケア グリーフケア
- 29回 安楽死 エンゼルケア グリーフケア
- 30回 前期、後期の総復習
- 31回 前期、後期の総復習
- 32回 試験範囲の説明（症例レポート提出）
- 33回 後期試験
- 34回 試験解答、説明
- 35回 グループワーク（心臓マッサージと人工呼吸）
- 36回 グループワーク

## 授業の方法

座学、グループワーク

## 教材

教科書 板書、動物

## 評価の方法

期末試験80%（症例レポート点含む）、出席率 20%

## 授業外での学習方法

症例レポート提出

## 実務経験と授業科目の関係

動物看護師

# 就職演習

## (授業概要)

就職活動において必要な知識、スキル、また社会に出た際必要となるルールやマナーを学び、今後の就職活動や社会人になったときに活かせる知識を身につける。

科	生命科学科	教員	稲岡 愛
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

## 目標

### 1 学期

自分を最大限アピールできる履歴書が書けるようになる。

インターンシップ実習にも活かせる社会のルールを知る。

### 2 学期

社会に出たときのルール、マナーを学ぶ。

就職面接における受け答えをイメージし、シミュレーションできるようになる。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 履歴書①
- 2回 履歴書②
- 3回 履歴書③/あいさつ
- 4回 履歴書④/あいさつ
- 5回 履歴書⑤/あいさつ
- 6回 来客対応①
- 7回 来客対応②
- 8回 電話対応①
- 9回 電話対応②
- 10回 名刺交換
- 11回 前期試験
- 12回 試験フィードバック
- 13回 序列
- 14回 前期のまとめ

### 2 学期

- 15回 就職面接準備①/身だしなみ①
- 16回 就職面接準備②/身だしなみ②
- 17回 就職面接準備③/言葉づかい①

- 18回 就職面接準備④/言葉づかい②
- 19回 就職面接準備⑤/言葉づかい③
- 20回 話の聞き方①
- 21回 話の聞き方②
- 22回 話の聞き方③
- 23回 SNSについて①
- 24回 SNSについて②
- 25回 SNSについて③
- 26回 訪問①
- 27回 訪問②
- 28回 訪問③
- 29回 動物業界で就職するために①
- 30回 動物業界で就職するために②
- 31回 職場における人間関係
- 32回 社会人1年生に向けて
- 33回 試験
- 34回 試験フィードバック
- 35回 まとめ
- 36回 社会人として

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

就職活動、インターンシップ実習の際の実践

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

# 経営概論

## (授業概要)

経営の全体像を俯瞰的に見、企業活動の方向性と意味を理解する。また、経営や意思決定を行っていくうえで直面する諸事情に対応するためのバランス感覚を養う。組織活動における人・モノ・金・情報の流れを理解する。

か 科	生命科学科	きょういん 教員	金海 泰
コース	TCA/SHP	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	2年次	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	72時間

## 目標

### 1 学期

経営戦略を学習し、企業活動・経営活動の意義・意味を理解する。企業活動の方向性、成長戦略、競争戦略の諸理論の理解を通して、現状を把握し、その状況を打開するための下地を構築する。

### 2 学期

マーケティングを学習し、それらを実施していくうえでの重要ポイントの網羅と、それぞれのポイントが有機的に連携する重要性を理解する。経営や業務遂行のための実践的な知識・思考の獲得を目指していく。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 経営戦略とは、マーケティングとは
- 2回 経営戦略（経営理念、企業のごだわり、理念と戦略）
- 3回 経営戦略（経営理念、理念と業務、理念と優先順位）
- 4回 経営戦略（環境分析、マクロ環境とミクロ環境、日本特有の環境）
- 5回 経営戦略（環境分析、SWOT分析）
- 6回 成長戦略（成長ベクトル、企業成長の過程）
- 7回 成長戦略（多角化戦略、さらなる成長のために）
- 8回 成長戦略（事業ポートフォリオ、事業と資金の循環）
- 9回 成長戦略（事業ポートフォリオ、経験の成果と製品の循環）
- 10回 成長戦略（内部成長方式と外部成長方式、自己成長、提携）
- 11回 前期試験①
- 12回 前期試験②
- 13回 成長戦略（買収・合併、顧客・組織文化・人の同質化の難しさ）
- 14回 競争戦略（コトラーの競争構造、競争構造の影響）

## 2 学期

- 15 回 競争戦略（バリューチェーン、企業価値をつくるもの）
- 16 回 競争戦略（3つの基本戦略、コスト・差別化・集中）
- 17 回 競争戦略（競争地位別戦略、リーダーの戦略）
- 18 回 競争戦略（競争地位別戦略、リーダーに対抗する戦略）
- 19 回 マーケティング（マーケティングの定義・コンセプト・要素）
- 20 回 マーケティング（標的市場の設定と接近、顧客を分ける）
- 21 回 マーケティング（標的市場の設定と接近、ターゲットと位置付け）
- 22 回 マーケティング（製品、定義・概念、分類）
- 23 回 マーケティング（製品、製品と経営戦略、PLC、計画的陳腐化）
- 24 回 マーケティング（製品、プロダクトミックス、品揃えの意味）
- 25 回 マーケティング（製品、ブランドの定義・機能・利点・戦略）
- 26 回 マーケティング（製品、サービス、特性・成否をわけるもの）
- 27 回 マーケティング（プロモーション、プロモーション戦略体系）
- 28 回 マーケティング（プロモーション、広告の定義・意味）
- 29 回 マーケティング（プロモーション、媒体戦略と表現戦略）
- 30 回 マーケティング（プロモーション、PR、人的販売、販売促進）
- 31 回 マーケティング（価格、価格設定のための WHO・WHAT・WHEN）
- 32 回 マーケティング（価格、価格計画・価格政策）
- 33 回 後期試験①
- 34 回 後期試験②
- 35 回 マーケティング（プレイス、流通チャネルの機能・戦略）
- 36 回 1年間のまとめ

## じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義、グループ活動

## きょうざい 教材

なし

## ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん  
期末試験80%、出席率 20%

## じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

なし



じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり

# 老齡犬ケア概論

## (授業概要)

老犬の健康管理、ケア、介護、また老犬を持つオーナー様へのケアなど実際に仕事についたときに実践、アドバイスができる知識を学ぶ。

科	生命科学科	教員	稲岡
コース	トレーニングケアゼミ	教員の実務経験	○
対象年次	2年	年間単位時間	36時間

## 目標

### 1 学期

老齡犬の基礎健康管理を学び、どのような変化が訪れ、どのように対応していくのかを学び、老犬がどのようなものをイメージできるようになる。

### 2 学期

老齡犬の介護の方法、家庭でのケア方法、オーナー様のケアを学び、具体的に将来どのように活かしていくのかを各自考えられるようになる。

## 授業計画

### 1 学期

- 1回 授業の説明、老齡犬について①
- 2回 老齡犬について②、老齡犬の身体的トラブル①
- 3回 老齡犬の身体的トラブル②
- 4回 老齡犬の身体的トラブル③
- 5回 老齡犬の身体的トラブル④
- 6回 老齡犬の身体的トラブル⑤
- 7回 老齡犬の身体的トラブル⑥
- 8回 老齡犬の身体的トラブル⑦
- 9回 老齡犬の身体的トラブル⑧
- 10回 老齡犬の身体的トラブル⑨
- 11回 老齡犬の身体的トラブル⑩
- 12回 試験
- 13回 期末試験フィードバック

### 2 学期

- 15回 介護②
- 16回 介護③
- 17回 介護④

- 10回 介護⑤
- 11回 介護⑥
- 18回 介護⑦
- 19回 介護⑧
- 20回 介護⑨
- 21回 介護⑩
- 22回 介護⑪
- 23回 介護⑫
- 24回 介護⑬
- 25回 自然医学療法
- 26回 老齢犬のオーナーケア①
- 27回 老齢犬のオーナーケア②
- 28回 老齢犬のオーナーケア③
- 29回 老齢犬のオーナーケア④
- 30回 老齢犬のオーナーケア⑤
- 31回 老齢犬のオーナーケア⑥
- 32回 老齢犬のオーナーケア⑦
- 33回 試験フィードバック
- 34回 試験
- 35回 前期まとめ
- 36回 後期まとめ

じゅぎょう ほうほう  
授業の方法

講義

きょうざい  
教材

なし

ひょうか ほうほう  
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど  
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう  
授業外での学習方法

機会があれば老齢犬に関わり、普段の様子を観察する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい  
実務経験と授業科目の関係

あり